

令和 2 年 3 月 11 日



全国健康保険協会 沖縄支部

協会けんぽ

<http://www.kyoukaikenpo.or.jp/>

協会けんぽ(全国健康保険協会)とは、主に中小企業の従業員とその家族が加入する健康保険です。平成 20 年に政府管掌健康保険を引き継いで設立されました。全国で約 4,000 万人、うち沖縄支部では約 59 万人が加入しています。

人工透析患者数が沖縄は男女共にワースト

～ 世界腎臓デーにレセプトデータ等を活用した人工透析に関する分析結果を公表 ～

3 月第 2 木曜日は「世界腎臓デー」、腎臓の日です。協会けんぽ沖縄支部では、世界腎臓デーの機会を通じて、腎臓病に対する県民の認識を高め、特定健診と特定保健指導を推進し、人工透析への移行防止に資することを目的にレセプトデータ等を活用した分析を行いました。

腎機能が悪化すると重篤な合併症を引き起こし、人工透析の導入が必要となります。人工透析導入は患者さんの QOL を大きく低下させてしまうだけでなく、1 人あたり年間約 500 万円の医療費が必要となります。

そこで今回、腎臓病の最大の課題である「人工透析」に関する以下の 3 テーマについて分析をしましたので、その結果を公表いたします。

【人工透析の地域差に関する分析結果】2017 年度末の都道府県支部の状況

○加入者 100 万人当たりの人工透析現存患者数において、沖縄が約 1,391 人と最も多く、最も少ない富山の約 669 人に比べて 2 倍以上の開きがありました。

また、沖縄は男女ともに人工透析現存患者数が最も多い状況でした。

○地域差の要因分析として、人工透析の主な原疾患である糖尿病の患者数について分析を行いました。沖縄は糖尿病の現存患者数の割合が最も高く、人工透析患者数との関連がみられました。

【人工透析の加入者種別に関する分析結果】2018 年度末の沖縄支部の状況

○沖縄支部の加入者種別における人工透析患者数の割合をみると被保険者(本人様)46%、被扶養者(ご家族様)54%と被扶養者の割合が高い状況でした。

今回の分析では、人工透析の地域差の要因として糖尿病患者数の影響が見られました。糖尿病対策としては、特定健診と特定保健指導による加入者のメタボリスク改善の取り組みが重要となります。また、血液検査や尿検査にて腎機能を把握し、腎臓病の早期発見及び重症化予防に繋げることも重要です。協会けんぽとしては、引き続き加入者に対する保健事業の実施と共に、関係機関と連携した重症化予防の取り組みを進めてまいりたいと思います。この機会にぜひ「腎臓病」に関する情報を各種報道等で取り扱っていただき、広く県民に周知していただきますようお願いいたします。

【添付資料】

- ・協会けんぽにおける人工透析の地域差(資料1)
- ・人工透析の地域差の要因の検討(資料2)
- ・沖縄支部人工透析患者数の推移(資料3)

【お問い合わせ先】

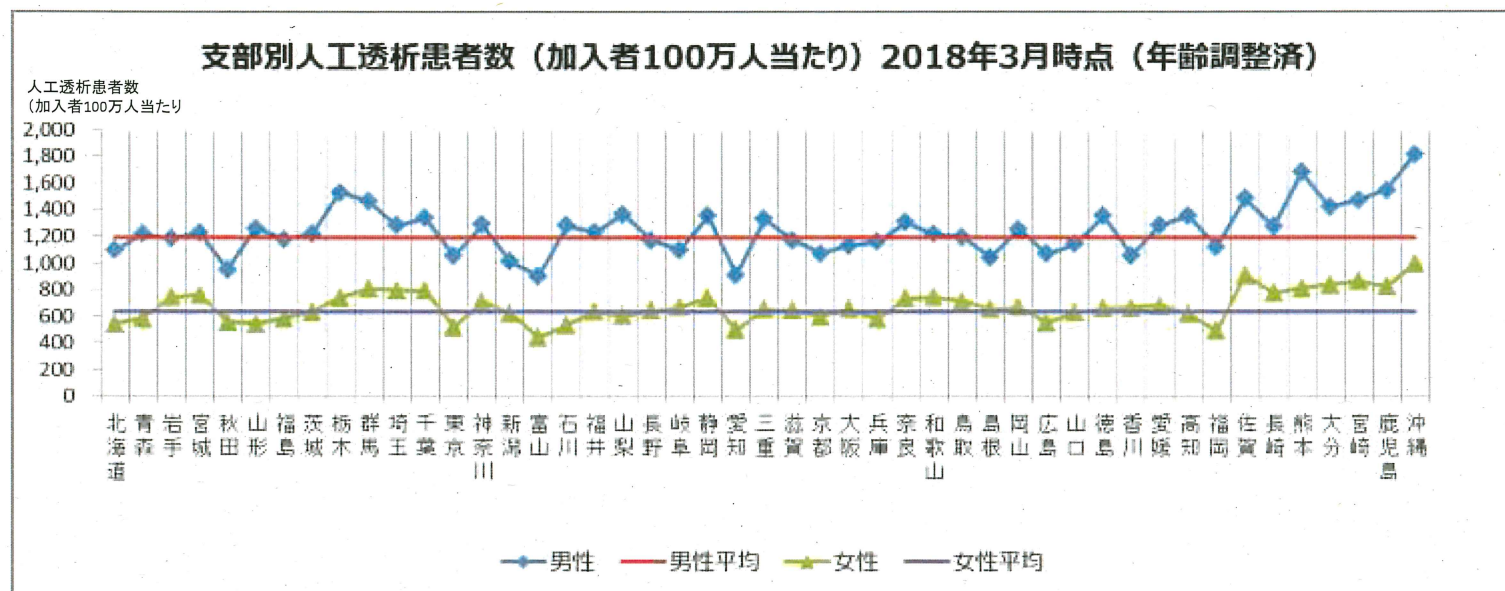
〒900-8512 那覇市旭町 114-4 おきでんビル 8 階
全国健康保険協会沖縄支部 担当: 企画総務グループ 宮里、新垣
TEL:098-951-2011 FAX:098-951-2295

(資料1) **協会けんぽにおける人工透析の地域差**
2017年度末（2018年3月）の状況

2017年度末時点で、協会けんぽの各支部における人工透析を行ったと思われる人工透析患者数（性別、加入者100万人当たり、年齢調整済）は下記の通りであり、以下の通り地域差が見られる。

男性：福岡を除く九州・沖縄地方が多く、特に「沖縄」「熊本」などは顕著。
 その他、「栃木」「群馬」や「徳島」「山梨」なども多い。

女性：男性と同様、福岡を除く九州・沖縄地方が多く、特に「佐賀」「沖縄」などは顕著。
 「群馬」「埼玉」「千葉」も多い。



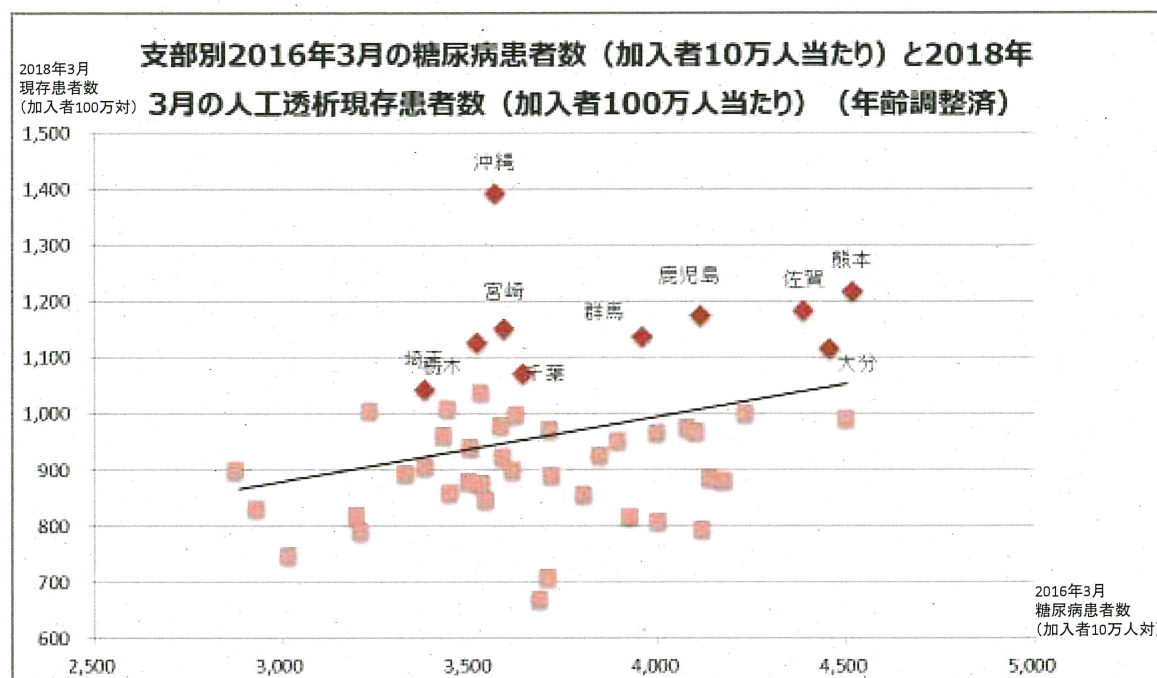
(資料2) **人工透析の地域差の要因検討**
支部における糖尿病に関する状況
(I) 糖尿病患者数との比較

人工透析の主な要因としては糖尿病性腎症が挙げられるため、支部における糖尿病患者数が地域差に影響を与える可能性がある。

ここでは協会における2016年3月における40代以上の糖尿病患者数（加入者10万人当たり）を用いて関係を確認する。
 2017年度末の人工透析者現存患者数と、加入者10万人当たり糖尿病患者数をプロットすると下図の通りとなる。

(ラベルが表示されているのは現存患者の割合が高い10支部)

現存患者の割合が高い支部ほど、糖尿病患者数の割合がやや高くなる傾向が見られた。



※糖尿病患者の特定は、2016年3月診療分（5月受付分）のレセプトにおいて、主傷病または傷病記載順1位に社会保険疾病表章用コードの糖尿病「0402」が存在するレセプトを有するか否かにより判定。

年齢調整に使用した年齢階級は2018年3月の年齢構成を使用。相関係数：0.320 $p < 0.05$

(資料3)沖縄支部 人工透析患者数の推移

	H25	H26	H27	H28	H29	H30
合計	730	781	801	817	836	875
男性	459	499	517	525	535	559
女性	271	282	284	292	301	316

	H25	H26	H27	H28	H29	H30
被保険者	338	368	387	378	389	401
被扶養者	392	413	414	439	447	474
合計	730	781	801	817	836	875

	H25	H26	H27	H28	H29	H30
男性被保険者	286	312	328	317	327	336
女性被保険者	52	56	59	61	62	65
男性被扶養者	173	187	189	208	208	223
女性被扶養者	219	226	225	231	239	251
合計	730	781	801	817	836	875

